

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2009年07月24日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2008000104"/> 整理番号 <input type="text" value="11327"/> 担当者 <input type="text" value="峯崎 隆司"/>
表 題	<input type="text" value="白血病治療に応用可能な細胞膜透過性RAR<math>\alpha</math>タンパク質"/>
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="食品・バイオ"/> <input type="text"/> <input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="白血病(急性前骨髄球性白血病; APL)治療剤"/>
目 的	<input type="text" value="急性前骨髄球性白血病 (APL) の原因となっているRAR<math>\alpha</math> の機能低下を補う方法の提供。"/>
技術概要	<input type="text" value="多くの急性前骨髄球性白血病 (APL) では15番と17番染色体の相互転座により、RAR<math>\alpha</math> とPML遺伝子が組換えられ、これらの融合タンパク質が発現する。これらは正常なRAR<math>\alpha</math> とPMLタンパク質機能が低いため、白血球分化が前骨髄球の段階で停止しAPLとなる。APLでは高濃度レチノイン酸 (活性型ビタミンA; RAR<math>\alpha</math> のリガンド) 投与により改善する場合もあるが、副作用や耐性を生じる場合もある。"/> <input type="text" value="本発明では、細胞膜透過性の正常型RAR<math>\alpha</math> を大腸菌に大量産生させ、精製することに成功した。また、このタンパク質はAPL患者由来のAPL細胞を好中球へと高効率で分化させた。この結果、本発明タンパク質はAPL治療剤としての応用が考えられる。"/>

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。
(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL: 03-5275-8139 FAX: 03-5275-8328 E-mail: nubic@nihon-u.ac.jp